



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2022

3月25日号

187
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒963-0201 郡山市大槻町字原ノ町3-1 TEL/FAX 024(954)7595

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

MAN WITH A MISSION



会長 新里 昌一

ビートルズやストーンズ、トム・ペティ、S&G、大滝詠一や山下達郎等、多くは昔の音楽ばかりを好んで聞いています。特に今の音楽が嫌いでもないですが、それほど関心もありませんでした。ミスチルやサザン、スピッツとかも好きですから、やはりバンド系の音楽を聞く傾向があるようです。2020年、家に籠もる事が多くなり40年ぶりにエレアコギターを購入しました。

マンウィズとかMWAMとか言われているオオカミバンドは、以前から知ってはいました。数年前、WOWOWで改めてライブを聞いていいなと思いました。「使命のある人」彼らは謎の生命体、顔はオオカミで体は人間？とあります。

私も使命を持って会長職を続けています。総合病院技師長で附属2病院統括役、県技師会の会長、更に家の事を全て100%は出来ません。どうしてもプライベートが後回しになり、手を抜く訳でもありませんが家庭が蔑ろになります。妻からは多くの不満が出ますし、心の中では申し訳なく思っていますが、もう少し理解が欲しいとも思います。先日の東北会長会議では、東北地域理事に推薦され一旦は断りましたが、結局立候補する事になりました。JART1月号に掲載のある通りに、地域理事の立候補書類に記載して提出をしました。

県会長として同時多発で持ち上がる案件に、良くも悪くも判断が必要となります。各案件には余り時間的猶予はないので、模索中でも意見を出すようにしています。間違った時には、他の理事から意見が出てきて助かっています。

まだまだ綱渡り的なデンジャラスな日々が続くようです。そこを三銃士のような副会長と理事、頼りにしている事務局長や会計、心強い監事さん、会員の皆さんにご尽力いただき進めています。

県技師会の事業は、会長の名の下に行われます。ただ会長1人が全て出来るはずもなく、多くの方々のご尽力による活動が行われています。

折しもTVドラマ「ラジエーションハウス」ではマンウィズの曲が主題歌になっていました。TVドラマの影響は大きく、初めて2つの中学校から体験学習に来ました。特にドラマを知らないで、技師に興味を持って来た中学生もいました。また、小学生で技師に興味を持ち当院に体験に来た事もあり、県広報にも掲載されました。

福島県立医科大学保健科学部も開校から1年が経とうとしています。今後も新学部の先生方とは、互いに良い協力関係を築いて行きたいと考えます。TCRT2021でも会場を貸していただきました。告示研修でもご協力をいただきましたが、残念ながら今年度は中止になりました。来年度は、万全を期して開催をいたします。2025年4月までの義務である告示講習を、ぜひ受講してください。統一講習会受講者から優先で受講が出来ます。皆さんも技師の使命・志を持って告示研修を受講しましょう！

福島県立医科大学 保健科学部診療放射線科学科だより

福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科 久保 均

皆さま、こんにちは。少し前に新年を迎えたと思っていたらもう3月になりますね。本当に月日の経つのは早いものです。今年は雪が多くて少々うんざりしている先生方も多いと思いますが、春は確実にやってきました。ちょっと近くにある草木に目を向けてみましょう。春の息吹が感じられます。待ち遠しいですね、春が来るのが。

今回も、前回に引き続いて診療放射線科学科の現状、そして令和4年度に向けた動きをご報告いたします。

まず、本原稿執筆時点で我々にとって最もホットな話題をお知らせいたします。それは、入試です。令和3年12月4、5日に学校推薦型選抜試験を実施し、令和4年2月25、26日に一般選抜試験を実施しました。学校推薦型選抜試験は県内の高等学校出身者でかつ1浪までが対象者ですが、実質倍率2.4倍で合格者は男女とも5名ずつとなりました。一般選抜試験は受験に特に制限はなく、実質倍率は2.0倍で合格者は男性9名、女性6名、県内7名で県外8名、新卒が8名で既卒が7名という結果となりました。まだ新年度に入らないと最終確定となりませんが、合格発表時のデータではこのような結果となりました。この結果によると、2期生は男性14名、女性11名となり1期生と比べると男女の割合がちょうど反転しました。また、県内出身者は約7割ということになりました。1期生の一般選抜試験は受験倍率7.8倍で第1段階選抜を行って実質倍率が4.0倍でしたので、それに比べると受験者数はかなり減少したことになります。もちろん、まだ2回しか入試を行っていませんので志願者数は増えたり減ったりを繰り返すであろう、と想定しております。4、5回ほどすると落ち着いてくるだろう、と考えているところです。なお、診療放射線科学科については1回目の入試と2回目の入試では県外からの志願者が非常に大きく減少しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響などもあったのではないかと想像しているところです。いずれにせよ2期生の入学者がほぼ決定しましたので、4月に元気に入學してきてくれることを願っています。

その新年度ですが、福島県立医科大学の入學式は令和4年4月6日(水)に行われます。場所は今年度と同じくとうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)です。新型コロナウイルス感染拡大の影響で入学者と最低限の関係者のみ入場が可能でかなり厳密な感染対策を施しての実施となっており、残念ながら保護者の方々や教職員も入れない状況です。また、原稿執筆時点での本学でのルールである登校できるようになるためには通学拠点に7日前に入っていること、を遵守するため、新入生は入學と同時にリモート講義となり、現時点では実際に登校できるようになるのは4月14日からとなるなど、既に準備の段階で波乱含みの状況です。先生方のご経験があったかと思いますが、入學当初(あるいは、新年度当初)はオリエンテーションや教科書の購入、施設見学など様々な行事がありますが、これらを入學すぐには実施できないことになり、どのように代替するかで教員と事務員が色々悩んでいるところです。でも、希望を持って入學してくれた学生さんらの期待を裏切らないよう、精一杯の努力をしているところです。

令和3年度も終わろうとしており、本学科でも多くの実験実習機器が導入されました。予定している実験実習機器のほとんどが今年度で導入され、来年度から、つまり1期生が2年生になった時からそれらを用いた実験実習が本格的になります。一部ご紹介した部屋もあると思いますが、いくつか写真でご紹介しますね。

- 1) X線撮影室1: キヤノンのX線発生装置が2台とコニカミノルタのFPDがあります。撮影実習用のファントムもそろっています。



2) X線撮影室2：キヤノンのX線発生装置が1台と富士フィルムのマンモ装置、骨密度測定装置、そしてポータブル装置があります。FPDは富士フィルムのシステムです。



3) X線透視撮影室：キヤノンの多目的透視装置が入りました。プロテクターなどもそろっています。



4) X線CT室：シーメンスのデュアルエネルギー可能なCTが入りました。また、放射線治療計画用のボードやレーザーも入りましたので、放射線治療計画用のCT撮影ができます。なお、画像処理や解析のための3Dワークステーションもシーメンス、GE、そしてザイオ等複数導入できました。



5) MR室：GEの3T装置を導入できました。



6) 治療計画実習室：バリアンのシステム（ノンクリニカル版）を導入しています。



7) 医療情報実習室、医療情報サーバー室：臨床で使えるようなスペックの医療情報システムを教育研究用として導入しました。各モダリティと接続しており、臨床現場と同等の業務の実習が可能です。また、サーバー室にはディープラーニングの計算が可能なような高性能の計算機システムを導入しました。



8) 環境放射能測定装置：Ge半導体の測定装置です。様々な環境放射能の測定が可能です。



9) スケーラーと検出器：日立のスケーラーと検出器です。先生方も、学生時代にこれを使って実験しませんでしたか？



- 10) サーベイメーター：種々のサーベイメーターです。



- 12) 超音波装置：キヤノンのシステムで揃えています。



- 14) 3Dプリンター：2つのタイプのプリンターを揃えています。また、プリンターの駆動に必要なソフトウェアもあります。



- 16) ARG (Autoradiography) 装置：基礎実験などで用いるARG装置もあります。



- 11) ポケット線量計：これもいくつかの種類を数多く揃えています。



- 13) 眼底カメラ装置：キヤノンのシステムで揃えています。



- 15) HPLCと純水製造装置：化学実験などを行うための装置類も充実しています。



以上です。これらの機器等を学外の先生方に完全に自由に使用していただく、というのは現時点では不可能ですが、我々教員と一緒に先生方の研究や研修、勉強などでご使用いただくのは可能だと思っております。何を行うにも全てが初めてのために最初はそのシステムを構築するのに少々時間はかかりますが、もし何か使用してみたい、ということがありましたらお気軽にご相談ください。

令和3年度も、これで終わりです。我々教員にとっては怒濤の1年でした。まだまだ落ち着くまでには時間がかかりますが、しっかりと学生の教育や研究を行っていきたいと考えております。先生方の引き続きのご指導、ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

～会長 「オンレコ」～

1 「星北斗県医師会副会長と面会」

県医師会から連絡があり、12月28日に事務所で面会を行いました。「参議院選に自民党公認で立候補したのでご協力をお願いしたい。今後の県医療界を盛り上げて行きたい。」と語りました。県技師会として政治活動は出来ないと説明して、連盟を通じて協力したいと回答しました。県甲状腺超音波支援会議で年数回お会いしますが、星総合病院

理事長・県医師会副会長としての手腕は凄いと思います。

2 「告示講習（義務）」

昨年12月に申し込みが可能になりました。2月12日と13日で2回開催を予定していましたが中止といたしました。受講予定の方には大変申し訳ございませんが、安全第一といたしました。来年度

は、各地区で1回の計4回を予定していますので、早めに受講をお願いします。

3 「償却資産申告」

福島市に事務所があった時はありませんでしたが、郡山市に移転したら必要になりました。何とか償却資産を書き出して郡山市役所へ提出しました（毎年1月には提出）。

その他、郡山税務署への源泉徴収の申告を行いました。郡山の年金機構からも提出を催促されましたが、電話連絡後に郵便物は届きませんでした。

県学術大会

令和3年度福島県診療放射線技師会学術大会開催

期間：令和4年（2022年）2月1日から2月14日
形態：web開催

（You Tubeによるオンデマンド方式）

・一般公開講演

「福島第一原子力発電所事故とCOVID-19パンデミック類似点と相違点を考える」

福島県立医科大学 放射線災害医療学講座

教授 長谷川有史 先生

・会員限定特別講座

「COVID-19の現状と感染対策について」

福島県立医科大学 感染制御学講座

准教授 仲村 究 先生

・論文受賞者講演

「ポジショニングって大事なの？」

大原総合病院 画像診断センター 村松 駿 氏

登録人数：122名（県のみ16名、他県3名）

視聴回数：一般公開講演：249回

：論文賞受賞者講演：121回

：会員限定講演：132回

4 「県北地区協議会 冬季勉強会」

告示研修について説明を行いました。静脈穿刺の延長で、CVポートから穿刺しての造影検査についてご質問がありました。同日開催の全国会長会議で鈴木副会長に質問していただき「末梢での静脈穿刺ではないので出来ない。」との回答を得ました。

5 「執行委員会・第5回理事会」

来年度の事業計画や予算について議論しました。非常勤事務員の雇用についても話し合いました。

昨年度に引き続きWeb開催という特殊な環境下ではありましたがご参加頂き視聴して頂いた会員の皆様には感謝申し上げます。今回の登録人数は福島県下の技師数を鑑みると大凡20%程度という結果になりました。各講演の内容も非常に今の世相を様々な角度で考察して頂いた内容であり、最新のデータも取り入れて構成して頂きました。私も学術委員の広報の至らなさも一因として来年度に向けて今回の反省を活かし会員の皆様に関心を持って頂けるような魅力的な大会の企画案を立案していかなければならないと思っております。

来年度はハイブリッドでの開催を予定しており時期は10月後半を予定しております。詳細は県のホームページにて随時更新していきますので皆様の参加をお待ちしております。

令和3年度学術大会にご参加頂いた皆様、開催にご尽力して頂いた各位に厚く御礼を申し上げます。

学術委員委員長 松井 大樹

地 区 だ よ り

県 北 地 区

冬季勉強会開催

適切な表現ではないかもしれませんが一難去ってまた一難、秋になり第5波が落ち着き感染者数がゼロの日も出てきて、ちょっとは平常に近づいたと思ったら、今度はオミクロンなる第6波。そのような心休まることのない状況下ではありますが、令和4年1月22日に新年の勉強会を開催いたしました。まだまだ会員皆様と面と向かっての交流はできない状況なので、苦渋の選択ではありますが、今回もオンライン開催の運びとなりました。

内容として①「AI技術活用での画像診断」ということで、これから増えていくだろうと思われる、AIによる画像診断ソフトの紹介を富士フィルムメ

ディカル中村健吾先生に講演していただき、②会員の関心事であります告示研修の開催に伴う「タスクシフティングによる業務拡大について」の講演を新里会長に、③「CT装置の現状～なかなか聞けない？エントリーモデルのはなし～」ということで、キャノンメディカルシステムズ渡辺奏先生とシーメンスヘルスケア鈴木和明先生に、エントリーモデルの話とこれからの最新技術なども合わせての講演をいただきました。

お忙しい中、50名近くの聴講があり、皆様ご参加本当にありがとうございました。まだ長い戦いになりそうではありますが、次回こそは皆様とお会いしての勉強会でありますように願っております。

（相澤）

浜 通 地 区

浜通り地区協議会第3回委員会開催

令和4年2月28日17:30よりWebexにて委員会が開催されました。会議内容の一部ではありますが浜通り地区の皆様にお知らせします。

- ① 告示研修スケジュール等の重要な連絡時に早急にお知らせするため、浜通りの会員の皆様のメーリングリストを作成し活用していくことになりました。
- ② 令和3年度地区協議会全体会が4月に予定しています。今回も書面決議の対応になります。
- ③ 2022年度告示研修が各地区協議会ごとに開催することになり、日程・開催場所など決まりし

だい通知されると思われます。

- ④ 来年度浜地区の学術大会を8月下旬に開催予定です。Web開催か会場開催のどちらかになる予定です。県の学術大会は10月下旬です。
- ⑤ 浜通り地区の役員数が他の地区より少なく、県技師会の仕事もあり多忙になっています。役員を増員する提案がありましたので各施設ではお忙しいと思いますがご協力をお願いします。

(大井)



会員の皆さんの施設等の移動について

会長 新里 昌一

毎年、年度末になると県内外での移動等が増える時期となります。来年度の会報・総会議案書の配送について、会員の皆さんの所属施設に必ず届くようにしたいと思います。日放技と県技師会の両方に入会している方は、その両方へ移動の手続きをお願いいたします。同じ技師会ですが個々に

独立した組織です。会員の皆さんには大変お手数をおかけしますが、両方の技師会ともホームページから移動の変更手続きをしてください。

会員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

令和4年度公益社団法人 福島県診療放射線技師会定時総会

会 告

定款第14条に基づき下記の定時総会を開催いたします。

記

第11回（令和4年度）
公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会

書面表決書提出締切：令和4年5月26日(木)必着

総会日時：令和4年5月28日(土)午後2時

新型コロナウイルス感染拡大の収束が未だ見えない中、会員皆様の安全確保及び感染拡大防止の観点から、昨年同様、書面表決での定時総会とさせていただきます。

つきましては、別紙の総会資料をお読みの上、お手数ですが令和4年5月26日(木)必着で、書面表決書をご提出ください。

定時総会へのご意見等がありましたら、各協議会や理事までお知らせください。直接、県HPへメールしていただいても構いません。なお、一般公開講演や各表彰も中止といたします。会員皆様のご理解を宜しくお願いいたします。

結果については、各理事や県HP、福放技ニュースにてお知らせいたします。ご理解とご協力の程お願い申し上げます。

以上

編 集 後 記

冬が終わり、日に日に春らしさが増してきています。今年も大勢でお花見というわけにはいきませんが、近所の桜を眺めて春を感じるのが楽しみです。新型コロナウイルス流行の第6波では、クラスターが多数発生し「コロナ感染」が大変身近に感じられるようになりました。自分も感染するかもしれない、と身構えてしまいそうになりますが、基本の感染対策をしっかりと行いながら淡々と日々の業務に取り組むしかありません。新年度は少しでも収束に向かい、技師会の様々な催しが対面で行えるようになることを願うばかりです。

(小池)